

別紙 1

1 環境保全活動に関する方針等

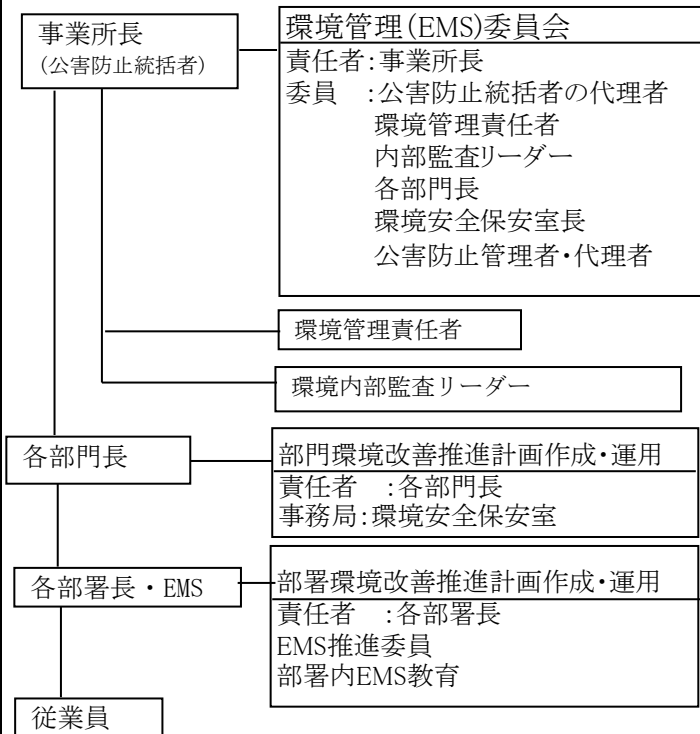
1-1 環境保全活動に関する方針

【添付資料 1】 のとおり

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1-2 環境保全活動に関する組織体制

以下の組織体制で推進している



(注) EMSとは環境マネジメントシステムの略で環境管理を意味します。

## 【添付資料1】

# AGC関西工場高砂事業所環境方針

## 基本方針

AGC関西工場は、AGCグループ環境基本方針に基づき、限りある資源・エネルギーを有効に使い、持続可能な社会づくりに貢献するために、環境汚染予防および環境負荷低減活動を積極的に推進します。

## 行動指針

1. 環境に関する各種法令・条例・協定等に基づく規制・基準を順守し、環境を阻害する要因の撲滅に努めます。
2. 環境パフォーマンス向上を含む環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3. 環境汚染の予防を推進します。  
環境リスクアセスメントを行い、環境リスクの低減を図り、環境事故を予防します。
4. 環境負荷低減に環境負荷低減に取り組み、環境保護に努めます。  
特に、省エネ・省資源、地球温暖化対策、廃棄物の削減・リサイクル促進および化学物質の適正な管理に関して目標を設定し、達成に努め、また向上を目指します。
5. 工場で働く全ての人に対してこの環境方針を周知し、一人ひとりがこれに基づき行動するよう、必要な教育や啓発を行います。
6. 利害関係者に対して工場環境方針を公表し、さらに環境管理の実施状況について、必要に応じて公表します。

2020年1月1日  
AGC株式会社関西工場  
工場長

## 別紙2

## 2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策(地球温暖化対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度工場CO<sub>2</sub>排出量実績は、NO.2溶融炉とNO.4溶融炉共に常時稼働しており、稼働休止時期のあった前年に比べて増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、工場全体の「照明、空調機器及び生産電力の削減」に注力。</li> <li>11月からのNO.4溶融炉の工事に伴ってエネルギー効率の向上が見込まれる。</li> </ul>
廃棄物の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃プラと可燃物の分別を徹底して行うことで、可燃物の廃棄量を削減出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出量削減として「有価物分別向上活動」を継続。</li> </ul>
環境事故予防処置の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境リスクアセスメントの考え方を取り入れて、作業・施設等に係る環境事故予防処置を継続的に実施。</li> <li>排水関係の未然防止活動を実施。</li> <li>場内の従業員全員に排水に関する教育を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「重大リスク」を優先した予防対策の推進。</li> <li>排水口での管理を強化。</li> <li>部署ごとのニーズに応じた教育を実施。</li> </ul>
化学物質の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>PRTR制度対象物質の見直しを実施。</li> <li>化学物質の保管状況について、各部署再点検を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改正水濁法(2012/6)施行後の該当施設管理を継続。</li> <li>次回のEMS内部監査での重点確認項目とする。</li> </ul>
ISO14001の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>2018年5月の更新移行審査は問題なく認証され、現在まで継続して運用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回2020年5月の更新審査の予定が、コロナ禍で9月に延期。</li> </ul>